

第 4 期 柏市 地域健康福祉計画の進捗状況について

【柱 1】 だれもが身近な地域の問題に関心を持ち共に支えあう地域づくり

・・・ P 1 ～ P 5

【柱 2】 だれもが暮らしの問題を相談でき解決できる仕組みづくり

・・・ P 6 ～ P 1 0

【柱 3】 だれもが健康でいきいきと暮らせる地域づくり

・・・ P 1 1 ～ P 1 3

【柱 4】 だれもが安全・安心に暮らせる環境づくり

・・・ P 1 4 ～ P 1 7

(1) 地域での支えあい、助けあい活動の促進

① 地域生活課題の解決に向けた住民参加の促進

番号	事業名	内容							担当部署			
		評価指標	H29 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3(中間年) 目標値	(1) R3 実績値	(2) R4目標値の達成見込 (◎、○、△、×、ー)		(3)	R6 目標値	
柱1(1)①ア	ふるさと運動事業 (ふるさと協議会等の支援)	ふるさと協議会の活性化、地域課題解決型の活動の取組を支援し、地域づくりに参画する新たな人材の発掘と育成を進め、市民参加型の地域づくりの実現を目指します。	—	—	—	—	—	○	<ul style="list-style-type: none"> R3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う事業の中止等により、従前のような取り組みでは実施できなかったが、オンライン研修など、新しい形で事業を実施できた。地域コミュニティでは、徹底した感染対策を講じた上での活動（三密の回避等）の実施が非常に困難な状況であったが、そのなかでもオンラインイベントや大人数にならない対策を取ることで事業実施を目指していた。 これまで課題であった「担い手不足」や「負担軽減」について、持続可能という観点から組織及び活動を継続・発展させていくための支援に取り組む必要がある。具体的には、他組織での活動・取り組み事例を共有する機会を設けることや、次世代の担い手の確保に向けたきっかけ作りや研修実施に務める。 	—	市民活動支援課	
柱1(1)①イ	町会等支援事業	町会等は豊かな市民生活の実現のため、市にとって大切なパートナーであることから、町会等への加入促進、町会活動の活性化を支援します。また、不動産（土地・建物）を保有する町会等の法人格取得支援・認可を行います。	町会加入率	68.80%	65.90%	64.20%	70.00%	62.84%	△	R3年度においては、コロナ禍において思うように加入促進事業が進められなかったため、引き続き集合住宅への加入促進を強化していく。	71.50%	市民活動支援課
柱1(1)①ウ	地区社会福祉協議会支援事業	各地区に担当職員を配置し、地区社会福祉協議会を中心とした地域支援を行います。また、地区社会福祉協議会連絡会の開催や活動助成金の交付などにより、地区社会福祉協議会活動の支援を行います。	地区担当職員の出向回数	1,474回	1,403回	944回	1,600回	1,103回	△	新型コロナウイルス感染症の影響で地域の活動が減った影響により、出向回数も目標値より減っているが、地域での活動再開に伴い、出向回数も回復傾向にある。	1,800回	柏市社会福祉協議会
柱1(1)①エ	地域づくり推進事業	地域担当の職員並びに、市民協働支援員、地域づくりコーディネーターを配置し、地域の課題解決の取組を支援します。また、そのための財政支援等の事業を展開していきます。地縁団体と他の活動団体の連携促進のため、橋渡しの役割を果たします。	地域活動支援補助金相談件数	19件	29件	19件	25件	10件	△	R3年度は依然として新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で町会活動が停滞し、補助金の相談自体が減少した。今後は町会活動も徐々に回復の兆しがあるため、相談の段階から手厚く町会等への支援を継続していく。	25件	市民活動支援課
柱1(1)①オ	地域の支えあいの充実と体制整備	各地域に配置された「地域支えあい推進員（生活支援コーディネーター）」が「支えあい会議」を開催し、地域資源の開発や会議に参加する多様な関係者間の連携を図ります。市域では「地域支えあい推進協議会」を中心に、柏市の支えあい活動の支援体制や推進策等の評価見直しを行います。住民主体による生活支援サービスを実施する団体や、高齢者の社会参加や、介護予防等を促進するための地域の居場所を運営する団体に対する補助金を交付し、地域の支えあい活動を推進します。	たすけあい活動団体数	51団体	67団体	68	68団体	59	◎	コロナ禍により活動団体の休止や解散が生じたが、地域支えあい推進員等の働きかけもあり、活動の復活や、新規の立ち上がりという現象が見られた。R4年度の活動団体数67件の見込み。担い手不足という実態は、変わらず課題である。	77団体	柏市社会福祉協議会
		地域包括支援課										

② コーディネートの充実

番号	事業名	内容							担当部署			
		評価指標	H29 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3(中間年) 目標値	(1) R3 実績値	(2) R4目標値の達成見込 (◎、○、△、×、ー)		(3)	R6 目標値	
柱1(1)②ア	地域いきいきセンター	福祉総合相談（子どもから高齢者まで分野を問わない初期相談窓口）や地域の支えあい推進に関すること、ボランティアコーディネート、地域組織（ふる協等）との連携・活動支援、お元気コール事業、その他地域ニーズに応じた事業等を行います。	設置箇所数	5箇所	6箇所	7箇所	8箇所	8箇所	○	R3年度に新富地域いきいきセンター、R4年度に増尾地域いきいきセンターを開設した。R5年度10箇所目の新田原地域いきいきセンター開設に向けて準備をすすめており、R6年度には11箇所の開設を目指す。	11箇所	柏市社会福祉協議会
柱1(1)②イ	地域の支えあいの充実と体制整備	各地域に配置された「地域支えあい推進員（生活支援コーディネーター）」が「支えあい会議」を開催し、地域資源の開発や会議に参加する多様な関係者間の連携を図ります。	地域支えあい推進員の配置数	17地域	20地域	21地域	21地域	21地域	○	支えあい会議等の活動を通じて、コロナ禍の地域の実情や情報共有を行った。徐々に活動も増えてきており、会議もできる形で工夫をし開催することができている。支えあい会議以外でも、支えあい推進員、地域包括支援センターとの連携を通じて地域資源の情報を更新していく	21地域	柏市社会福祉協議会
		地域包括支援課										

柱1(1)②ウ	さわやかサービス事業	たすけあいのマッチング、協会会員の養成、研修、車いすの方の移動サービスの提供を行います。							R2年度は新型コロナウイルスの影響により活動を一時休止しており、サービス提供件数が低下したが、R3年度は、コロナ前の水準まで回復した。相談件数も増えており、ニーズの増大が予測される。	柏市社会福祉協議会	
		サービス提供件数	4,619件	4,196件	2,953件	4,500件	3,758件	○			4,400件
		相談件数	1,199件	4,549件	4,004件	1,300件	4,175件	◎			1,500件

③ 見守り活動の推進

番号	事業名	内容							R6 目標値	担当部署 ※複数の担当が該当する場合は、青色セルの部署をご記入ください。		
		評価指標	H29 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3(中間年) 目標値	(1) R3 実績値	(2) R4目標値の達成見込 (◎, ○, △, ×, -)			(3)	
柱1(1)③ア	民生委員・児童委員の活動支援	住民の身近な相談役、つなぎ役として地域で活動する民生委員・児童委員の活動を支援していきます。民生委員活動を周知し、欠員をできるだけなくすことで活動しやすい環境づくりに努めます。							◎	97.50%	福祉総務課	
		民生委員委嘱率	94.30%	91.90%	93.40%	96.00%	94.60%	◎				・R4に実施される一斉改選に向け、候補者推薦への協力を依頼するため、各ふるさと協議会総会に出席し、ふるさと協議会、町会長に対し説明を行った。しかし、一斉改選後の民生委員委嘱率は、前回一斉改選時とほぼ同じ85.8%となっている。 ・民生委員のなり手不足が年々深刻になっている。他自治体の事例調査を行うとともに、年齢制限や協力員制度などについても導入可否の検討を行う。
柱1(1)③イ	高齢者声かけ訪問事業	民生委員・児童委員が担当地区の高齢者宅を訪問することにより、福祉サービスや介護サービスが必要な状態にもかかわらず、閉じこもりや家庭事情などを含め、自らの力で利用申請ができない高齢者を把握し、適正なサービス利用につなげます。							◎	増加	地域包括支援課	
		地域包括支援センターにつながった件数	148件	289件	-	増加	-	◎				・R3年度は新型コロナ感染拡大防止の観点から未実施であったが、R4は3年ぶりに実施し、実績は384件であった。 ・R6年度に向けては、引き続き、民生委員の御理解・御協力のもとで実施し、支援が必要な高齢者の把握に努める。
柱1(1)③ウ	地域の支えあいの充実と体制整備	各地域に配置された「地域支えあい推進員（生活支援コーディネーター）」が「支えあい会議」を開催し、地域資源の開発や会議に参加する多様な関係者間の連携を図ります。「支えあい会議」を通して、地域における見守り体制づくりを支援します。							◎	21地域	地域包括支援課	
		支えあい会議設置数	19地域	19地域	20地域	21地域	21	◎				・支えあい会議等の活動を通じて、コロナ禍の地域の実情や情報共有を行った。徐々に活動も増えてきており、会議もできる形で工夫をし開催することができている。支えあい会議以外でも、支えあい推進員、地域包括支援センターとの連携を通じて地域資源の情報を更新していく
柱1(1)③エ	防災福祉K-Net事業	平常時から地域の方へ避難行動要支援者の情報を提供することで、災害発生時や災害の発生が予想される時に安否確認や避難支援を地域の方に協力していただく制度です。行政は避難行動要支援者を取りまとめ、地域の方に情報提供を行うとともに、平常時からの支援体制構築などの支援を行います。							◎	増加	福祉総務課	
		マッチング済み町会数	102町会	185町会	185町会	122町会	185町会	◎				全町会向けの全体研修会や個別に町会支援を実施してきた結果、257町会（提供率：93.1%）において、名簿の受け取りをしてもらっている。すべての町会で避難行動要支援者名簿を受領してもらうには、地域において、防災活動の基盤が必要であり、今後は、庁内関係部署との連携強化や町会での防災活動（自主防災組織）と連動し、避難行動要支援者名簿の受け取り、支援体制の構築を進めていけるようにする。
		名簿提供町会数	236町会	255町会	257町会	256町会	257町会	◎				

④ 意識啓発・福祉教育の充実

番号	事業名	内容							R6 目標値	担当部署 ※複数の担当が該当する場合は、青色セルの部署をご記入ください。	
		評価指標	H29 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3(中間年) 目標値	(1) R3 実績値	(2) R4目標値の達成見込 (◎, ○, △, ×, -)			(3)
柱1(1)④ア	福祉教育事業	地域や学校、企業などにおける体験学習の支援の他、「夏ボラのススメ」や「ふくしの種」の発行などを通じて、子どもの頃からの福祉意識の醸成を行います。							△	600人	柏市社会福祉協議会
		夏季ボランティア体験者数	595人	676人	132人	600人	360人	△			
柱1(1)④イ	男女共同参画促進のための啓発事業の実施	男女共同参画センターにおいて、関心の持たれやすいテーマを取り入れながら、講座の開催や情報発信を図ります。							◎	増加	共生・交流推進センター
		センターでの講座開催回数	13回	15回	4回	増加	3回	◎			

柱1(1)④ウ	障害理解・啓発イベントの実施	関係団体と協働で障害者理解を促進するイベントを実施します。また、関係団体、事業者が行うイベントを積極的に紹介し、後援します。							障害福祉課
		イベント実施回数	25件	11件	2件	25件	16件	○	
柱1(1)④エ	消費者教育事業	柏市消費者教育推進連絡会（教育委員会と連携）及び柏市消費者行政推進協議会を開催します。柏市消費生活コーディネーター及び柏市消費生活サポーターが地域において行う活動の支援を行います。							消費生活センター
		地域での消費者講座（講話）の開催回数	121回	160回	70回	100回	97	○	

(2) 地域福祉活動団体への支援及び活動拠点の整備

① 地域福祉団体への支援

番号	事業名	内容								担当部署 ※複数の担当が該当する場合は、青色セルの部署がご記入ください。	
		評価指標	H29 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3(中間年) 目標値	(1) R3 実績値	(2) R4目標値の達成見込 (◎、○、△、×、－)	(3)		R6 目標値
柱1(2)①ア	ふるさと運動事業（ふるさと協議会等の支援） 【再掲】 柱1(1)①ア	ふるさと協議会の活性化、地域課題解決型の活動の取組を支援し、地域づくりに参画する新たな人材の発掘と育成を進め、市民参加型の地域づくりの実現を目指します。									市民活動支援課
		—	—	—	—	—	—	○	<ul style="list-style-type: none"> ・R3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う事業の中止等により、従前のような取り組みでは実施できなかったが、オンライン研修など、新しい形で事業を実施できた。地域コミュニティでは、徹底した感染対策を講じた上での活動（三密の回避等）の実施が非常に困難な状況であったが、そのなかでもオンラインイベントや大人数にならない対策を取ることで事業実施を目指していた。 ・これまで課題であった「担い手不足」や「負担軽減」について、持続可能という観点から組織及び活動を継続・発展させていくための支援に取り組むことが必要である。具体的には、他組織での活動・取り組み事例を共有する機会を設けることや、次世代の担い手の確保に向けたきっかけ作りや研修実施に務める。 	—	
柱1(2)①イ	町会等支援事業 【再掲】 柱1(1)①イ	町会等は豊かな市民生活の実現のため、市にとって大切なパートナーであることから、町会等への加入促進、町会活動の活性化を支援します。また、不動産（土地・建物）を保有する町会等の法人格取得支援・認可を行います。									市民活動支援課
		町会加入率	68.80%	65.90%	64.20%	70.00%	62.84%	△	<ul style="list-style-type: none"> ・R3年度においては、コロナ禍において思うように加入促進事業が進められなかったため、引き続き集合住宅への加入促進を強化していく。 	71.50%	
柱1(2)①ウ	地域づくり推進事業 【再掲】 柱1(1)①エ	柏市消費者教育推進連絡会（教育委員会と連携）及び柏市消費者行政推進協議会を開催します。柏市消費生活コーディネーター及び柏市消費生活サポーターが地域において行う活動の支援を行います。									市民活動支援課
		地域活動支援補助金相談件数	19件	29件	19件	25件	10件	△	<ul style="list-style-type: none"> ・R3年度は依然として新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で町会活動が停滞し、補助金の相談自体が減少した。 ・今後は町会活動も徐々に回復の兆しがあるため、相談の段階から手厚く町会等への支援を継続していく。 	25件	
柱1(2)①エ	地域いきいきセンター 【再掲】 柱1(1)②ア	福祉総合相談（子どもから高齢者まで分野を問わない初期相談窓口）や地域の支えあい推進に関すること、ボランティアコーディネート、地域組織（ふる協等）との連携・活動支援、お元気コール事業、その他地域ニーズに応じた事業等を行います。									柏市社会福祉協議会
		設置箇所数	5箇所	6箇所	7箇所	8箇所	8箇所	○	<ul style="list-style-type: none"> ・R3年度に新富地域いきいきセンター、R4年度に増尾地域いきいきセンターを開設した。R5年度10箇所目の新田原地域いきいきセンター開設に向けて準備をすすめており、R6年度には11箇所の開設を目指す。 	11箇所	
柱1(2)①オ	ボランティアセンター事業	ボランティア活動の相談やボランティアコーディネート、活動団体への助成金の交付やボランティア育成講座などにより、ボランティア活動の普及啓発や人材育成を行います。									柏市社会福祉協議会
		登録ボランティア数（個人ボランティア、ボランティアグループ会員）	3,795人	3,842人	3,312人	3,950人	3,255人	○	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ、高齢化の影響から活動休止、解散などにより、登録ボランティア数が減少した。 ・入門講座のほか、保育や災害など目的別講座を開催し、人材育成を行うとともに、時代のニーズに合った活動の把握・調整を行い、活動の推進を図る。 	4,070人	
柱1(2)①カ	地区社会福祉協議会支援事業 【再掲】 柱1(1)①ア	各地区に担当職員を配置し、地区社会福祉協議会を中心とした地域支援を行います。また、地区社会福祉協議会連絡会の開催や活動助成金の交付などにより、地区社会福祉協議会活動の支援を行います。									柏市社会福祉協議会
		地区担当職員の出向回数	1,474回	1,403回	944回	1,600回	1,103回	△	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染の影響で地域の活動が減った影響により、出向回数も目標値より減っているが、地域での活動再開に伴い、出向回数も回復傾向にある。 	1,800回	

② 地縁型組織や目的型組織同士の連携の促進

番号	事業名	内容									担当部署
		評価指標	H29 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3(中間年) 目標値	(1) R3 実績値	(2) R4目標値の達成見込 (◎, ○, △, ×, -)	(3)	R6 目標値	
柱1(2)②ア	地域の支えあいの充実と体制整備	各地域に配置された「地域支えあい推進員（生活支援コーディネーター）」が「支えあい会議」を開催し、地域資源の開発や会議に参加する多様な関係者間の連携を図ります。									地域包括支援課
		支えあい会議設置数	19地域	19地域	20地域	21地域	21地域	○	・コロナ禍の影響の中でも徐々に活動が増えてきており、会議もできる形で工夫をし開催することができている。引き続き活動現状等を把握した上で、地域関係者や民間事業者と情報共有を図りながら、コロナ禍でも連携できる支えあい体制づくりを目指す。	21地域	柏市社会福祉協議会
柱1(2)②イ	地域いきいきセンター【再掲】 柱1(1)②ア 柱1(2)①エ	福祉総合相談（子どもから高齢者まで分野を問わない初期相談窓口）や地域の支えあい推進に関すること、ボランティアコーディネート、地域組織（ふる協等）との連携・活動支援、お元気コール事業、その他地域ニーズに応じた事業等を行います。									柏市社会福祉協議会
		設置箇所数	5箇所	6箇所	7箇所	8箇所	8箇所	○	R3年度に新富地域いきいきセンター、R4年度に増尾地域いきいきセンターを開設した。R5年度10箇所目の新田原地域いきいきセンター開設に向けて準備をすすめており、R6年度には11箇所の開設を目指す。	11箇所	柏市社会福祉協議会
柱1(2)②ウ	ボランティアセンター事業【再掲】 柱1(2)①オ	ボランティア活動の相談やボランティアコーディネート、活動団体への助成金の交付やボランティア育成講座などにより、ボランティア活動の普及啓発や人材育成を行います。									柏市社会福祉協議会
		登録ボランティア数（個人ボランティア、ボランティアグループ会員）	3,795人	3,842人	3,312人	3,950人	3,255人	○	コロナ、高齢化の影響から活動休止、解散などにより、登録ボランティア数が減少した。入門講座のほか、保育や災害など目的別講座を開催し、人材育成を行うとともに、時代のニーズに合った活動の把握・調整を行い、活動の推進を図る。	4,070人	柏市社会福祉協議会

③ 活動・交流拠点の整備充実

番号	事業名	内容									担当部署
		評価指標	H29 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3(中間年) 目標値	(1) R3 実績値	(2) R4目標値の達成見込 (◎, ○, △, ×, -)	(3)	R6 目標値	
柱1(2)③ア	教育福祉会館リニューアルにあわせた拠点整備事業	教育福祉会館耐震改修工事に併せ、各分野別に実施していた福祉活動が、元気な高齢者と子育ての支援や障害者の社会参画支援等を推進するような時代に合った共生社会実現に向けた、つながりの拠点として整備を行います。									福祉総務課 高齢者支援課 障害福祉課 子育て支援課
		拠点整備実施	未実施	未実施	実施済	実施済	実施済	○	拠点整備実施済（R3年1月リニューアルオープン）地域活動の場の提供により、地域課題の解決につながる役割を担い、地域共生社会の実現を目指します。	実施済	柏市社会福祉協議会
柱1(2)③イ	地域いきいきセンター【再掲】 柱1(1)②ア 柱1(2)①エ 柱1(2)②イ	福祉総合相談（子どもから高齢者まで分野を問わない初期相談窓口）や地域の支えあい推進に関すること、ボランティアコーディネート、地域組織（ふる協等）との連携・活動支援、お元気コール事業、その他地域ニーズに応じた事業等を行います。									柏市社会福祉協議会
		設置箇所数	5箇所	6箇所	7箇所	8箇所	8箇所	○	R3年度に新富地域いきいきセンター、R4年度に増尾地域いきいきセンターを開設した。R5年度10箇所目の新田原地域いきいきセンター開設に向けて準備をすすめており、R6年度には11箇所の開設を目指す。	11箇所	柏市社会福祉協議会
柱1(2)③ウ	はぐはぐひろば（地域子育て支援拠点）事業の整備運営	乳幼児の親子や妊娠している方を対象に、交流や育児相談・情報提供・育児講座を実施する地域子育て支援拠点事業（子ども・子育て支援法に基づく地域子ども・子育て支援事業の1つ）について、地域バランスを考慮しながら新規整備を行います。									子育て支援課
		利用者数	25,969人	33,832人	25,424人	33,000人	31,292人	○	R3年度は、新型コロナウイルスの感染防止のため、予約制として利用者数を制限したが、時間交代制や参加回数の制限を実施したため、より多くの方に利用してもらうことができた。今後は、新型コロナウイルス感染症対策の国等の動向を踏まえた上で、地域バランス等も考慮し、事業の在り方を改めて検討していく。	45,000人	子育て支援課
柱1(2)③エ	近隣センター施設管理事業	貸出施設の機能維持、稼働率の向上並びに施設利用の快適性を向上させます。									市民活動支援課
		稼働率	43.60%	45.76%	38.74%	47.00%	39.47%	○	R3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により稼働率が低下した状態が継続したが、貸出施設の機能維持、稼働率の向上及び施設利用の快適性を向上させるため、修繕を行った（7箇所の近隣センター）。R6年度に向け、予防保全的な修繕を進め、稼働率の向上を目指す。	50.00%	市民活動支援課

(3) 地域福祉を担う人材の育成

① 多様な活動分野における人材の育成

番号	事業名	内容									担当部局
		評価指標	H29 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3(中間年) 目標値	(1) R3 実績値	(2) R4目標値の達成見込 (◎, ○, △, ×, -)	(3)	R6 目標値	
柱1(3)①ア	地域づくり推進事業【再掲】 柱1(1)①エ 柱1(2)①ウ	地域活動支援補助金相談件数	19件	29件	19件	25件	10件	△	R3年度は依然として新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で町会活動が停滞し、補助金の相談自体が減少した。 今後は町会活動も徐々に回復の兆しがあるため、相談の段階から手厚く町会等への支援を継続していく。	25件	市民活動支援課
柱1(3)①イ	ボランティアセンター事業【再掲】 柱1(2)①オ 柱1(2)②ウ	登録ボランティア数(個人ボランティア、ボランティアグループ会員)	3,795人	3,842人	3,312人	3,950人	3,255人	○	コロナ、高齢化の影響から活動休止、解散などにより、登録ボランティア数が減少した。 入門講座のほか、保育や災害など目的別講座を開催し、人材育成を行うとともに、時代のニーズに合った活動の把握・調整を行い、活動の推進を図る。	4,070人	柏市社会福祉協議会
柱1(3)①ウ	子育て支援者の育成とネットワークの拡大	子育て支援員(地域子育て支援拠点その他)認定者数	32人	32人	1人	20人	22人	◎	R3年度は、子育て支援員研修について、R3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策としてe-ラーニングを取り入れて実施した。啓発行事としては、はぐはぐフォーラムを感染対策としてInstagramやZoomといったオンライン配信を中心に行った。今後も新型コロナウイルスの感染状況に注視しながら、状況にあった実施方法について実行委員と検討していく。	子育て支援者等を対象とした研修を実施	子育て支援課
柱1(3)①エ	教育福祉会館リニューアルにあわせた拠点整備事業	ボランティア育成講座参加者数	674人	未実施	341人	実施済	331人	○	委託先である社会福祉協議会やコーディネーターとともにボランティア育成講座を考え、実施することで市内のボランティア人材を育成する。	次期計画策定時に再設定を検討	福祉総務課 高齢者支援課 障害福祉課 子育て支援課 柏市社会福祉協議会

② ボランティア活動機会の提供

番号	事業名	内容									担当部局
		評価指標	H29 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3(中間年) 目標値	(1) R3 実績値	(2) R4目標値の達成見込 (◎, ○, △, ×, -)	(3)	R6 目標値	
柱1(3)②ア	ボランティアセンター事業【再掲】 柱1(2)①オ 柱1(2)②ウ 柱1(3)①イ	登録ボランティア数(個人ボランティア、ボランティアグループ会員)	3,795人	3,842人	3,312人	3,950人	3,255人	○	コロナ、高齢化の影響から活動休止、解散などにより、登録ボランティア数が減少した。 入門講座のほか、保育や災害など目的別講座を開催し、人材育成を行うとともに、時代のニーズに合った活動の把握・調整を行い、活動の推進を図る。	4,070人	柏市社会福祉協議会
柱1(3)②イ	介護支援サポーター事業	フレイル予防カードを利用して、フレイル予防に取り組む市民の数	1,400人	1,530人	2,557人	4,000人	17,653人	◎	感染対策を取りながら活動する団体が増え、カードの周知が進んだこと、新型コロナウイルスワクチン接種会場で特設窓口を設置しカード発行したこと、カードの周知と発行につながった。 広報や地域包括支援センターを通じポイントカードの周知と活用を推進する。	10,000人	地域包括支援課

(1) 相談窓口の充実

① 総合的な相談支援体制の充実

番号	事業名	内容								担当部署 ※複数の担当が該当する 場合、青色セルの部署が ご記入ください。	
		評価指標	H29 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3(中間年) 目標値	(1) R3 実績値	(2) R4目標値の達 成見込 (◎, ○, △, ×, -)	(3) R6 目標値		
柱2(1)①ア	高齢者の総合相談事業 (地域包括支援センター)	地域包括支援センターへの相談や問い合わせへの対応満足度	87.20%	77.30%	76.90%	増加	82.30%	—	・R3は前年度を上回る満足度となった。 ・R4はR5.3以降に評価を実施予定。	増加	地域包括支援課
柱2(1)①イ	障害者の総合相談事業 (地域生活支援拠点)	相談支援件数	4,049件	8,337件	8,247件	5,500件	8,884件	◎	地域の身近な相談窓口として、市内の4地域に1カ所ずつ地域生活支援拠点を整備し、障害者等の相談に応じている。 相談件数は、新型コロナの影響もありR2年度は微減したが、増加傾向となっている。	6,000件	障害福祉課
柱2(1)①ウ	地域生活支援センター事業 (あいネット)	新規相談受付件数	999件	954件	2041件	1,437件	1,707件	○	R3年度は、R2年度から引き続き新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴う離職者や就労機会が減少して生活困窮に陥る方が増加した。福祉の総合相談の窓口では、世代や属性に関わらず複雑・複合的な課題を抱える相談者に対して地域の専門相談支援機関と連携しつつ伴走支援を実施した。また、生活困窮者自立相談の窓口では、経済的支援(対象拡大された住居確保給付金、生活困窮者自立支援金など)や就労・債務に係る相談が多く、就労準備支援や家計改善支援などを通じて相談者の自立・再建に向けた支援を行った。 今後も当該感染症や物価上昇など社会情勢は不安定な見通しであることから、引続き生活に課題を抱える方々の相談を受け止め、支援を実施していく。 (R3年度新規相談受付件数の内訳は、福祉の総合相談722件(福祉政策課所管)、生活困窮者自立相談985件(生活支援課所管))	1,575件	福祉政策課
柱2(1)①エ	総合相談支援 (柏市社会福祉協議会)	連携した件数	—	209件	17件	120件	75件	○	前年度に引き続きコロナ禍の相談が続き、関係機関への繋ぎが行いにくいこともあったが、コロナ禍が多少落ち着いたこともあり、関係機関と連携した支援ができるようになった。	—	柏市社会福祉協議会
柱2(1)①オ	地域いきいきセンター 【再掲】 柱1(1)②ア 柱1(2)①エ 柱1(2)②イ 柱1(2)③イ	設置箇所数	5箇所	6箇所	7箇所	8箇所	8箇所	○	R3年度に新富地域いきいきセンター、R4年度に増尾地域いきいきセンターを開設した。R5年度10箇所目の新田原地域いきいきセンター開設に向けて準備をすすめており、R6年度には11箇所の開設を目指す。	11箇所	柏市社会福祉協議会

② 高齢者・障害者・子育て支援等相談窓口の充実

番号	事業名	内容								担当部署 ※複数の担当が該当する 場合、青色セルの部署が ご記入ください。	
		評価指標	H29 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3(中間年) 目標値	(1) R3 実績値	(2) R4目標値の達 成見込 (◎, ○, △, ×, -)	(3) R6 目標値		
柱2(1)②ア	高齢者の総合相談事業 (地域包括支援センター) 【再掲】 柱2(1)①ア	地域包括支援センターへの相談や問い合わせへの対応満足度	87.20%	77.30%	76.90%	増加	82.30%	—	・R3は前年度を上回る満足度となった。 ・R4はR5.3以降に評価を実施予定。	増加	地域包括支援課
柱2(1)②イ	障害者の総合相談事業 (地域生活支援拠点) 【再掲】 柱2(1)①イ	相談支援件数	4,049件	8,337件	8,247件	5,500件	8,884件	◎	地域の身近な相談窓口として、市内の4地域に1カ所ずつ地域生活支援拠点を整備し、障害者等の相談に応じている。 相談件数は、新型コロナの影響もありR2年度は微減したが、増加傾向となっている。	6,000件	障害福祉課

【柱2】

柱2(1)②ウ	自立支援協議会相談支援部会の運営支援	相談支援体制強化のため、相談支援専門員の支援スキル向上に資する研修会等の企画・運営を支援し、ケアマネジメントに従事する質の高い相談支援人材についての養成・確保を図ります。							障害福祉課
		部会の開催回数	6回	5回	5回	6回	6回	○	
柱2(1)②エ	柏市妊娠子育て相談センター(子育て世代包括支援センター)	市内4か所の柏市妊娠子育て相談センターにて、妊娠期から子育て期にわたるまでの総合的相談支援を実施します。妊娠届出時に専門職による面談を実施し、支援の必要な妊婦には、関係機関と連携をした支援を早期に実施します。							地域保健課
		妊娠届出時の保健師等の面談率	75%	100%	100%	100%	100.00%	○	
柱2(1)②オ	利用者支援事業	子ども及びその保護者や妊娠している方等が、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等を円滑に利用できるよう、身近な場所で情報提供等を行い、あわせて相談・助言等を行うとともに、関係機関との連絡調整等を実施し支援する利用者支援事業(子ども・子育て支援法に基づく地域子ども・子育て支援事業の1つ)の基本型を、地域バランスを考慮しながら整備します。							子育て支援課
		利用件数	591件	981件	1,364件	1,500件	1,709件	◎	
柱2(1)②カ	地域生活支援センター事業(あいネット)【再掲】 柱2(1)①ウ	委託事業で実施しています。生活困窮及び生活困窮に陥りそうな方からの相談に応じ、相談者が抱えている課題を解決するために支援計画を作成し、市役所内外の様々な制度の利用や関係機関との連携を行いながら、自立へ向けた伴走型の支援を行っています。							福祉政策課
		新規相談受付件数	999件	954件	2041件	1,437件	1,707件	○	
柱2(1)②キ	心配ごと相談	民生委員などが相談員となり、日常生活における身近な相談窓口として、様々な悩み事や心配ごとを傾聴し、アドバイスや適切と思われる窓口を案内します。							柏市社会福祉協議会
		心配ごと相談の相談件数	122件	84件	78件	150件	86件	×	
柱2(1)②ク	消費生活相談事業	消費生活相談員による消費生活相談や、消費生活相談員に対する研修を実施します。全国消費生活情報ネットワークシステムへの消費生活相談内容の適正な報告をします。							消費生活センター
		消費生活相談件数	3,304件	3,986件	3,697件	3,725件	3,428件	○	

③ 相談窓口の周知の徹底

番号	事業名	内容							R6 目標値	担当部局 ※複数の担当が該当する場合は、青色セルの部局がご記入ください。	
		評価指標	H29 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3(中間年) 目標値	(1) R3 実績値	(2) R4目標値の達成見込 (◎, ○, △, ×, -)			(3)
柱2(1)③ア	「あなたが困った時…相談窓口」パンフによる周知	配架場所の数	51箇所	52箇所	59箇所	65箇所	59箇所	○	80箇所	福祉総務課	
			困りごと別に相談先を案内する冊子「あなたが困った時…相談窓口」を作成し、関係機関へ配架します。								
										<p>【R3取り組みの成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 悩みをかかえた方と相談機関をつなぐ役割をもつ方(全民生委員約550人や、ゲートキーパー研修の全参加者約200人)に配架を行った。配架先の数としては横ばいだが、発行部数は増えており、本リーフレットを十分に活用いただけた方への配架が促進できた。 相駅前の配架スペースを活用するなど、広く一般に向けた配架も行った。 相談先等を落とし込んだマップを新たに掲載した。 <p>【R6に向けた取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後もさらに広く周知できるよう配架先を検討していく。 	

柱2(1)③イ	市ホームページの管理運営	CMS（コンテンツ・マネジメント・システム）を活用し、情報を必要としている人を対象に、分かりやすいページを各課で作成し、迅速な情報提供を行います。また、まちの魅力を訴求するコンテンツを掲載し、まちの魅力やイメージを伝えます。							14,990,635回	広報広聴課
		ホームページ閲覧数	13,980,306回	18,798,631回	36,866,436回	14,547,962回	38,049,584回	—		

④ 専門的人材の育成

番号	事業名	評価指標	内容							R6 目標値	担当部署 ※複数の担当が該当する場合、青色セルの部署をご記入ください。
			H29 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3(中間年) 目標値	(1) R3 実績値	(2) R4目標値の達成見込 (◎, ○, △, ×, -)	(3)		
柱2(1)④ア	介護支援専門員支援事業	研修会等への参加人数	1,589人	1,397人	725人	増加	1,065人	○	・R3取り組みの成果、課題 ・R6に向けた具体的施策や方向性 ・R4見込が△、×の場合は改善策	増加	地域包括支援課
柱2(1)④イ	柏市市民後見推進事業	市民後見人の受任件数	1件	7件	11件	増加	12件	○	今年度も市民後見人の受任は続いている。今後も市と協議を行い、研修等を行うなど新規の受任を増やしていきたい。	増加	柏市社会福祉協議会
柱2(1)④ウ	こどもルーム管理運営事業(指導員の人材育成)	内部研修の実施時間	44時間	57時間	37時間	26時間	53時間	◎	新型コロナウイルスの感染状況に応じて、ZOOMを活用したオンライン研修を実施した。引き続き、オンライン研修を含めた研修メニューの充実を図り、指導員の人材育成に努めることとする。	26時間	学童保育課

(2) 課題解決に向けたネットワークの構築

① 地域での相談体制の構築

番号	事業名	評価指標	内容							R6 目標値	担当部署 ※複数の担当が該当する場合、青色セルの部署をご記入ください。
			H29 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3(中間年) 目標値	(1) R3 実績値	(2) R4目標値の達成見込 (◎, ○, △, ×, -)	(3)		
柱2(2)①ア	高齢者の総合相談事業(地域包括支援センター) 【再掲】 柱2(1)①ア 柱2(1)②ア	地域包括支援センターへの相談や問い合わせへの対応満足度	87.20%	77.30%	76.90%	増加	82.30%	—	・R3は前年度を上回る満足度となった。 ・R4はR5.3以降に評価を実施予定。	増加	地域包括支援課
柱2(2)①イ	障害者の総合相談事業(地域生活支援拠点)	相談支援件数	4,049件	8,337件	8,247件	5,500件	8,884件	◎	地域の身近な相談窓口として、市内の4地域に1カ所ずつ地域生活支援拠点を整備し、障害者等の相談に応じている。相談件数は、新型コロナの影響もありR2年度は微減したが、増加傾向となっている。個別支援や研修、協議の場を通じて、ネットワーク構築に努めている。	6,000件	障害福祉課
柱2(2)①ウ	利用者支援事業 【再掲】 柱2(1)②オ	利用件数	591件	981件	1,364件	1,500件	1,709件	◎	R3年度は、子育て支援アドバイザーが常駐するはぐひろば沼南・若柴まで出かけられない方の相談をより多く受けられるよう出張相談の場所を4カ所から6カ所に増やした。今後も、出張相談も含めた事業の拡充を検討する。	3,000件	子育て支援課

② 課題解決に向けた多機関の連携・協働

番号	事業名	内容								担当部署 ※複数の担当が該当する 場合、青色セルの部署が ご記入ください。	
		評価指標	H29 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3(中間年) 目標値	(1) R3 実績値	(2) R4目標値の達 成見込 (◎, ○, △, ×, -)	(3)		R6 目標値
柱2(2)②ア	在宅医療・ 介護連携推進事業	利用者・家族 の生活満足度	-	62.80%	-	増加	-	-	多職種連携協議会：3回 多職種連携・情報共有システム部会：3回 研修部会：3回 啓発広報部会：3回 部屋の新規開設数：49部屋 多職種連携研修会：0回（コロナ禍で実施出来 ず） 顔の見える関係会議：1回 市民啓発：5回	増加	地域医療推進課
柱2(2)②イ	地域の支えあいの充実 と体制整備 【再掲】 柱1(2)②ア	支えあい会議 設置数	19地域	19地域	20地域	21地域	21地域	○	・コロナ禍の影響の中でも徐々に活動が増えて きており、会議もできる形で工夫をし開催する ことができている。引き続き活動現状等を把握 した上で、地域関係者や民間事業者と情報共有 を図りながら、コロナ禍でも連携できる支えあ い体制づくりを目指す。	21地域	地域包括支援課 柏市社会福祉協議会
柱2(2)②ウ	地域ケア会議の推進	地域ケア会議 開催回数	42回	76回	75回	増加	72回	◎	コロナ禍にあっても昨年度と同程度開催できて おり、R4年度の開催は73回の見込み。会議で は、コロナ禍での高齢者の居場所やフレイル予 防等について議論し、かしまおれんじフレンズ と閉じこもり高齢者のマッチングに繋がった。 今後も会議を通じて地域課題の共有と課題解決 に向けた検討、資源開発、市への施策提言へと 繋げていく。	増加	地域包括支援課

③ 市役所内の連携強化

番号	事業名	内容								担当部署 ※複数の担当が該当する 場合、青色セルの部署が ご記入ください。	
		評価指標	H29 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3(中間年) 目標値	(1) R3 実績値	(2) R4目標値の達 成見込 (◎, ○, △, ×, -)	(3)		R6 目標値
柱2(2)③ア	地域共生社会の実現に 向けた連携会議（庁内 等連携会議）	会議開催回数	-	5回	3回	6回	5回	○	【R3の取り組み】 ・R4からの重層的支援体制整備事業導入に向 け、庁内の連携体制構築や補助金に関するこ とについて主に協議した。 ・第4期柏市地域健康福祉計画（平成31年3月か ら令和6年までの6か年計画）の中間年にあた り、計画の中間見直しに関する報告や協議を 行った。 【R6に向けた取り組み】 ・重層的支援体制整備事業に関する進捗報告、 協議 ・第5期地域健康福祉計画の策定に向けた報 告、協議 ・分野別計画の進捗に関する報告 （高齢者いきいきプラン21、ノーマライ ゼーションかしわプラン等） ・福祉の総合相談に関することや、教育福祉会 館に関することなど、地域共生社会に関する報 告、協議	6回	福祉総務課

(3) 情報発信の充実

① 情報の多様な発信の強化

番号	事業名	内容									担当部署	
		評価指標	H29 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3(中間年) 目標値	(1) R3 実績値	(2) R4目標値の達成見込 (◎, ○, △, ×, -)	(3)	R6 目標値		
柱2(3)①ア	SNSによる情報発信	Twitter, Facebook等で市政情報等を発信し、情報の拡散を行います。										広報広聴課
		千葉県柏市(公式)Twitterフォロワー数	49,451	51,413	53,155	53,000	55,159	—	・R3取り組みの成果、課題 ・R6に向けた具体的施策や方向性 ・R4見込が△, ×の場合は改善策 【R3取り組み成果】 市ホームページ等で公式Twitterを周知。各所属等で保有しているアカウントのリツイートを行い、周知に努めた。 【R6に向けた具体的施策や方向性】 各所属等のアカウントを保有している部署は積極的な投稿を、各所属等のアカウントを保有していない部署に対しては、公式アカウントで投稿が可能であることを全庁に周知するよう努める。	56,000		
柱2(3)①イ	災害情報発信事業	災害時には、ライフラインの損傷等が想定されることから、防災行政無線やメール配信サービス、ホームページ等の複数の情報伝達ツールを用いた積極的な情報発信に努めます。 また、防災アプリを用いた情報発信等、情報伝達手段の拡充に努めます。										防災安全課 広報広聴課
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

② 情報バリアフリーの推進

番号	事業名	内容									担当部署	
		評価指標	H29 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3(中間年) 目標値	(1) R3 実績値	(2) R4目標値の達成見込 (◎, ○, △, ×, -)	(3)	R6 目標値		
柱2(3)②ア	障害に配慮した情報提供の充実	点字広報や声の広報の発行等を通じて、障害に配慮した情報発信ルートを確認するとともに、専門の情報提供に従事する人材育成を図ります。										障害福祉課
		音訳ボランティア・点字奉仕員養成者数	21名	0名	0名	21名	37名	△	・R3取り組みの成果、課題 ・R6に向けた具体的施策や方向性 ・R4見込が△, ×の場合は改善策 R3年度は音訳(21名)、点訳(16名)奉仕員養成講座を開講したことから養成者の人数が多かった。なお、点訳のみの開講年となると人数に変動が生じる。定員割れしていることから周知方法の検討をする必要がある。	21名		
柱2(3)②イ	意思疎通支援事業(手話通訳者・要約筆記者の派遣)	聴覚、言語機能、音声機能、視覚その他の障害のため、意思の疎通を図ることに支障がある障害者に、手話通訳者や要約筆記者等の派遣等を行い、意思疎通の円滑化を図ります。										障害福祉課
		派遣件数	953件	612件	465件	1,022件	568件	○	徐々にコロナ前の派遣人数に戻つつある。近年、市外派遣が増えてきているが、派遣目的に合致する申請は全て対応してきている。	1,119件		
柱2(3)②ウ	市ホームページの管理運営 【再掲】 柱2(1)③イ	CMS(コンテンツ・マネジメント・システム)を活用し、情報を必要としている人を対象に、分かりやすいページを各課で作成し、迅速な情報提供を行います。また、まちの魅力を訴求するコンテンツを掲載し、まちの魅力やイメージを伝えます。										広報広聴課
		ホームページ閲覧数	13,980,306回	18,798,631回	36,866,436回	14,547,962回	38,049,584回	—	【R3取り組みの成果】 新型コロナウイルス関係、住民サービスに関する情報をメインに閲覧者が必要としている情報を検証し、ページの修正を行った。 なお、目標として定めているホームページ閲覧数については、新型コロナウイルス感染症に関するページ閲覧数が非常に多かったため、当初目標からはるかに多い閲覧数となっている。 【R6に向けた具体的施策や方向性】 スマートフォンでの閲覧がより一層増えることが予想されるため、スマートフォンでの閲覧を意識したページ作りを推進していく。	14,990,635回		

(1) 地域を核とした健康づくりの促進

① 身近な地域での健康づくりの促進

番号	事業名	内容								担当部局	
		評価指標	H29 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3(中間年) 目標値	(1) R3 実績値	(2) R4目標値の達成見込 (◎, ○, △, ×, -)	(3)		R6 目標値
柱3(1)①ア	フレイル予防事業	地域包括支援課、介護予防センター及び地域包括支援センターで連携しながら、フレイル予防の3つの柱（栄養・運動・社会参加）に基づく介護予防教室や体操教室を開催するとともに、これらを通じた地域における様々な自主活動支援を行います。 主に高齢者を対象に地域で活動している地域サロンや団体に対して、講師を派遣しフレイル予防に効果的なプログラムの提供（フレイルチェック、体操、レクリエーション、口腔、栄養の座学や実技）を行います。									地域包括支援課
		フレイルチェック講座の参加者数	847人	1,050人	451	1,100人	632人	○	・R3取り組みの成果、課題 ・R6に向けた具体的施策や方向性 ・R4見込が△、×の場合は改善策	1,400人	

② 生活習慣病の予防の促進

番号	事業名	内容								担当部局	
		評価指標	H29 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3(中間年) 目標値	(1) R3 実績値	(2) R4目標値の達成見込 (◎, ○, △, ×, -)	(3)		R6 目標値
柱3(1)②ア	健康づくり普及啓発	多様な機会を捉えて、がんや生活習慣病の予防について、普及・啓発を推進していきます。									健康増進課
		がん検診の新規登録者	28,868人	19,140人	13,488人	28,873人	20,563人	△	・R3取り組みの成果、課題 ・R6に向けた具体的施策や方向性 ・R4見込が△、×の場合は改善策	29,053人	
柱3(1)②イ	特定健康診査及び特定保健指導事業	40歳から年度内に74歳以下の柏市国民健康保険被保険者を対象に特定健康診査を実施し、健診結果に応じた特定保健指導を実施することにより生活習慣病の発症及び重症化を予防します。目標値は、柏市国民健康保険第2期データヘルス計画(中間評価)の目標値とした。									保険年金課
		特定健康診査受診率	42.4%	46.8%	42.3%	47.0%	43.90%	○	R3年度は新型コロナウイルス感染症の影響はあるが、健診受診率はR2年度と比較し1.6ポイント増加した。今後も健診受診率の目標値達成に向け、効果的な受診勧奨通知の送付や、休日や複数の会場による集団健診を継続していく。	-	
		特定保健指導実施率	23.0%	26.7%	23.3%	25.9%	18.30%	△	R3年度は、保健指導対象者への利用勧奨通知の発送及び、保健師や管理栄養士による電話での利用勧奨の他、駅前や近隣センター等複数の施設で開催や、休日や遠隔面談、電子申請による保健指導の予約受付を実施したが、保健指導率はR2年度よりも5ポイント低下している。そのため、R4年度は試行的に予約なしの保健指導や、事前連絡無しの訪問保健指導を実施したところ効果が確認できたため、今後も継続していく。	-	

③ こころの健康づくりの充実

番号	事業名	内容								担当部局	
		評価指標	H29 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3(中間年) 目標値	(1) R3 実績値	(2) R4目標値の達成見込 (◎, ○, △, ×, -)	(3)		R6 目標値
柱3(1)③ア	自殺予防対策事業	事前予防を中心とし、普及啓発や人材育成、相談事業、遺族支援などを実施していきます。また、外部委員を含めた自殺予防対策連絡会議を開催し、実施方策の検証・評価、今後の自殺対策の方向性を検討していきます。									福祉総務課
		無料相談の相談件数	326件	443件	478件	400件	598件	◎	・対面相談の件数は、ここ数年増加の傾向にあるため、相談窓口の周知を促進していく。 ・自殺予防に関する事業について、柏市自殺予防対策計画に基づきその進捗を管理するとともに、社会情勢に応じて内容を見直し、今後の方向性等については自殺予防対策連絡会議での検証、評価を継続して行う。	500件	
柱3(1)③イ	専門職による相談支援と連携の強化	保健所や市役所、委託相談支援事業所に精神保健福祉士等の専門職を配置して、心の健康や医療に関する相談、福祉サービス等の生活相談に対応する多様な相談窓口を確保するとともに、対象者本人のみならず家族や支援者等も含めた支援を実施します。									保健予防課
		委託相談支援事業所における専門職配置数	18人	24人	24人	20人	23名	◎	委託相談支援事業所の専門職配置数については、概ね目標値を達成し、多くの相談ニーズに対応できる人員配置となっている。 心の健康や医療については、医療機関や保健予防課等と連携し、本人や家族等の支援にあたっている。	22人	

柱3(1)③ウ	かしわお元気コール事業	在宅福祉サービスを利用していない孤立しがちな高齢者などを対象に、各地域いきいきセンターを拠点に、電話声かけボランティアによる安否確認を行います。							柏市社会福祉協議会	
		利用登録者数	54人	42人	59人	90人	61人	△		地域いきいきセンターの新規開設に伴い実施エリアが拡大したことで利用増加傾向にあるが、地域により利用者数にばらつきがある。引き続き利用者獲得に取り組むとともに、ニーズが高い地域においては実施回数等の検討を進める。
		延電話回数	2,209回	1,955回	2,117回	3,600回	2,652回	△	利用者増により延電話回数も増加傾向にあるが、利用者数が目標に達していないため電話回数も目標値には達しない状況である。引き続き事業周知の機会を増やし、利用者獲得に取り組む。	4,800回

(2) 地域医療の充実

① 在宅医療の普及と定着

番号	事業名	内容								R6 目標値	担当部署 ※複数の担当が該当する場合は、青色セルの部署をご記入ください。	
		評価指標	H29 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3(中間年) 目標値	(1) R3 実績値	(2) R4目標値の達成見込 (◎, ○, △, ×, -)	(3)			
柱3(2)①ア	在宅医療・介護連携推進事業【再掲】 柱2(2)②ア	医療・介護の多職種連携を深め、在宅医療を中心とした地域医療体制を推進するため、「在宅医療・介護 多職種連携協議会」を設置し、多職種連携のルール作りを行うとともに、ICTシステムの普及、多職種研修の企画運営、市民向けの在宅医療の普及、啓発活動を行います。また、柏地域医療連携センターを地域医療の拠点として、在宅医療が必要な市民への調整支援（在宅主治医がいない場合の主治医、副主治医の調整及び多職種連携チームのコーディネート）を行います。										地域医療推進課
		利用者・家族の生活満足度	-	62.80%	-	増加	-	-	多職種連携協議会：3回 多職種連携・情報共有システム部会：3回 研修部会：3回 啓発広報部会：3回 部屋の新規開設数：49部屋 多職種連携研修会：0回（コロナ禍で実施出来ず） 顔の見える関係会議：1回 市民啓発：5回	増加		

② 救急医療体制の整備

番号	事業名	内容								R6 目標値	担当部署 ※複数の担当が該当する場合は、青色セルの部署をご記入ください。	
		評価指標	H29 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3(中間年) 目標値	(1) R3 実績値	(2) R4目標値の達成見込 (◎, ○, △, ×, -)	(3)			
柱3(2)②ア	救急医療対策事業	小児救急をはじめとした救急医療の体制確保に向け、医師会等関係団体と継続的に協議を行い、適切な体制確保策を検討します。必要な費用の一部を市が補助し、安定的な体制維持を図ります。										地域医療推進課
		小児科二次病院待機（休日昼間）の待機日充足率	84.70%	96.05%	77.80%	増加	81.94%	◎	救急医療補助金あり方検討会を開催し、医師会だけでなく医療公社管理課、消防局と横の連携を図った。 R2は、新型コロナウイルスの影響で実績値が減少したが、R3は増加へと転じており、R4についてはさらに増加する見込み。	増加		

③ 在宅サービス提供体制の充実

番号	事業名	内容								R6 目標値	担当部署 ※複数の担当が該当する場合は、青色セルの部署をご記入ください。	
		評価指標	H29 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3(中間年) 目標値	(1) R3 実績値	(2) R4目標値の達成見込 (◎, ○, △, ×, -)	(3)			
柱3(2)③ア	さわやかサービス事業【再掲】 柱1(1)②ウ	たすけあいのマッチング、協力会員の養成、研修、車いすの方の移動サービスの提供を行います。										柏市社会福祉協議会
		サービス提供件数	4,619件	4,196件	2,953件	4,500件	3,758件	○	R2年度は新型コロナウイルスの影響により活動を一時休止しており、サービス提供件数が低下したが、R3年度は、コロナ前の水準まで回復した。 相談件数も増えており、ニーズの増大が予測される。	4,400件		
		相談件数	1,199件	4,549件	4,004件	1,300件	4,175件	◎		1,500件		
柱3(2)③イ	在宅医療・介護連携推進事業【再掲】 柱2(2)②ア 柱3(2)①ア	医療・介護の多職種連携を深め、在宅医療を中心とした地域医療体制を推進するため、「在宅医療・介護 多職種連携協議会」を設置し、多職種連携のルール作りを行うとともに、ICTシステムの普及、多職種研修の企画運営、市民向けの在宅医療の普及、啓発活動を行います。また、柏地域医療連携センターを地域医療の拠点として、在宅医療が必要な市民への調整支援（在宅主治医がいない場合の主治医、副主治医の調整及び多職種連携チームのコーディネート）を行います。										地域医療推進課
		利用者・家族の生活満足度	-	62.80%	-	増加	-	-	多職種連携協議会：3回 多職種連携・情報共有システム部会：3回 研修部会：3回 啓発広報部会：3回 部屋の新規開設数：49部屋 多職種連携研修会：0回（コロナ禍で実施出来ず） 顔の見える関係会議：1回 市民啓発：5回	増加		

柱3(2)③ウ	喀痰吸引等の特定行為ができるホームヘルパーの育成	医療的ケアを必要とする子どもや障害者が安心して地域生活を送れるよう、喀痰吸引等の特定行為ができるホームヘルパーの養成を支援します。							障害福祉課		
		本市における喀痰吸引基礎研修修了者数	4人	0人	10人	4人	3人	—		今年度より委託から研修費用を負担した事業所への助成とする方法へと要綱を新規制定した。変更後の事業所への影響を把握して支援の促進を検討していく。	4人
柱3(2)③エ	精神障害者に対応した地域生活支援システムの構築のための関係者協議の場の設置	地域包括ケアシステムの構築のために、支援策の検討や医療と福祉の連携のために関係機関による協議の場を設置します。 地域生活支援拠点による相談、体験、緊急対応、地域移行支援による退院支援と地域生活促進、地域定着支援による単身生活者等のサポート、グループホーム整備等による住まいの確保及びピアサポーターの養成による当事者による支援の提供の取組を進めます。							保健予防課		
		実施回数	—	7回	6回	7回	7回	○		R3年度は、事業の実施主体が千葉県から市へ移譲された。運営事務局を市内の委託相談支援事業所へ委託し、精神障害者の地域生活支援に向けた取り組みを行った。①普及啓発、②医療、③障害福祉・介護をテーマに3つのワーキンググループに分かれ、ツールの作成などを通じ、各関係機関による相談・連携体制の構築に向けた情報共有や協議を行っている。R6年度に向けても引き続き協議の場を設置し、各関係機関の顔の見える連携体制の構築を図る。	7回
		参加延人数	—	197人	117人	90人	121人	○			90人

(3) 社会参加の促進

① 高齢者・障害者の社会参加

番号	事業名	内容							R6 目標値	担当部署 ※複数の担当が該当する場合は、青色セルの部署をご記入ください。	
		評価指標	H29 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3(中間年) 目標値	(1) R3 実績値	(2) R4目標値の達成見込 (◎, ○, △, ×, —)			(3)
柱3(3)①ア	高齢者の就労・社会参加促進事業	就労している前期高齢者の割合	29.60%	34.30%	- (実績値の根拠であるアンケート調査が隔年実施のため)	増加	- (実績値の根拠であるアンケート調査が3年に一度の実施のため)	○	・R3取り組みの成果、課題 ・R6に向けた具体的施策や方向性 ・R4見込が△、×の場合は改善策	増加	福祉政策課
柱3(3)①イ	障害者就業・生活支援センターなどによる就労相談事業	就労決定者数	47人	33人	24人	55人	41人	△	新型コロナ禍の中、企業がオンラインによる企業見学や採用面接等を取り入れ、就職者数は回復傾向にある。 R6年から障害者雇用率が引き上げられる見込みであり、障害者雇用に関する企業向け相談会をハローワーク等と開催し、就労者数の増加を目指す。	60人	障害福祉課
柱3(3)①ウ	老人福祉センターの運営	施設利用者延べ数	147,779人	108,885人	23,437人	150,000人	66,514人	△	新型コロナウイルスの影響が根深く、従来の利用状況を取り戻せていない。感染対策として一部利用方法に制限をかけたまま開所を続けている。来年度も新型コロナウイルス対策を取りつつ、状況を見ながら必要に応じて緩和方針を検討し、利用者増加に繋げたい。	150,000人	高齢者支援課
柱3(3)①エ	就労定着支援事業	就労定着支援利用者数	—	61人	56人	55人	49人	△	主に就労定着支援事業を利用するのは精神・発達障害者が多いが、本人の希望により就労定着支援事業を利用しないケースや離職等により、利用者数が減少している。 今後は本人や企業に対し、必要に応じて安定した就労継続の一環として、就労定着支援事業の利用を促進する。	60人	障害福祉課
柱3(3)①オ	教育福祉会館リニューアルにあわせた拠点整備事業	教育福祉会館耐震改修工事に併せ、各分野別に実施していた福祉活動を有機的に結びつけ、障害者や高齢者など、誰もが生きがいをもって社会参加しやすい環境をつくります。							福祉総務課		
		環境整備実施	未実施	未実施	実施済	実施済	実施済	○	拠点整備実施済（R3年1月リニューアルオープン） 今後、地域活動の場の提供により、地域課題の解決につながる役割を担い、地域共生社会の実現を目指します。	実施済	柏市社会福祉協議会

(1) 防災・防犯対策の充実

① 平常時の防災・減災対策の充実

番号	事業名	内容									担当部署
		評価指標	H29 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3(中間年) 目標値	(1) R3 実績値	(2) R4目標値の達成見込 (◎, ○, △, ×, -)	(3) ・R3取り組みの成果、課題 ・R6に向けた具体的施策や方向性 ・R4見込が△, ×の場合は改善策	R6 目標値	
柱4(1)①ア	自主防災組織に関する事業	自主防災組織加入世帯数	107,634世帯	101,031世帯	105,796世帯	109,500世帯	104,196世帯	△	・感染症対策をしながら、可能な限り町会等に出向き、防災講習会や訓練を行った。 ・また、コロナ禍で開催が難しくなった地域防災リーダー講習会の代替として、防災に関する動画を作成・公開している。	111,000世帯	防災安全課
柱4(1)①イ	ふるさと運動事業（ふるさと協議会等支援事業）	-	-	-	-	-	-	-	・ふるさと協議会からは、定例会等に当該の職員が参加した際に、防犯・防災に関する話を聞く機会がある。その中で、避難所運営や防犯パトロールなどの防犯・防犯に関わる取り組みを課題として取り上げることもあるため、必要に応じて防災安全課と連携して対応する。 ・今後も、コロナ禍の経験から得られた教訓を踏まえ、平時から地域力を醸成するための支援を行うことで、地域が災害時の対応を強化できるよう寄与していく。	-	市民活動支援課
柱4(1)①ウ	町会等支援事業	自主防災組織設立件数	1件	0件	1件	5件	2件	○	昨年度は2件組織の設立ができた。R3（中間年）の目標値5件に対し、H29～R3までに4件の設立という結果となった。R4は現時点で2件の新規設立組織への申請の補助、交付を行った。今後も自主防災組織の主管部署である防災安全課とともに補助金申請を働きかけていく。	5件	市民活動支援課

② 災害時の対策の充実

番号	事業名	内容									担当部署
		評価指標	H29 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3(中間年) 目標値	(1) R3 実績値	(2) R4目標値の達成見込 (◎, ○, △, ×, -)	(3) ・R3取り組みの成果、課題 ・R6に向けた具体的施策や方向性 ・R4見込が△, ×の場合は改善策	R6 目標値	
柱4(1)②ア	防災福祉K-Net事業【再掲】 柱1(1)③エ	マッチング済み町会数	102町会	185町会	185町会	122町会	185町会	◎	全町会向けの全体研修会や個別に町会支援を実施してきた結果、257町会（提供率：93.1%）において、名簿の受け取りをしてもらっている。すべての町会で避難行動要支援者名簿を受領してもらうには、地域において、防災活動の基盤が必要であり、今後は、庁内関係部署との連携強化や町会での防災活動（自主防災組織）と連動し、避難行動要支援者名簿の受け取り、支援体制の構築を進めていけるようにする。	増加	福祉総務課
		名簿提供町会数	236町会	255町会	257町会	256町会	257町会	◎		増加	

【柱4】

柱4(1)②イ	災害ボランティアセンター	災害時の災害ボランティアセンターの立ち上げに向け、災害ボランティアセンターの設置訓練を行う他、災害ボランティアコーディネーターの養成などを行います。							◎	新たに7名のコーディネーターを養成した。万一の災害に備え、引き続き養成するとともに、登録者のフォローアップを行う。	87人	柏市社会福祉協議会
		災害ボランティアコーディネーター登録者数	72人	78人	100人	72人	102人					
柱4(1)②ウ	ヘルプカード・ヘルプマークの配布	援助や配慮を必要としていることが外見からはわからない方が、援助等を必要としていることを周囲に知らせるためのヘルプカード及びヘルプマークを配布します。							○	今後も周知を続け、配布数の増加や設置箇所数の増加を図る。	30箇所	障害福祉課
		ヘルプカード及びヘルプマークの設置箇所数	3箇所	28箇所	28箇所	30箇所	28箇所					

③ 防災対策等の充実

番号	事業名	内容								R6 目標値	担当部署 ※複数の担当が該当する場合、青色セルの部署をご記入ください。		
		評価指標	H29 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3(中間年) 目標値	(1) R3 実績値	(2) R4目標値の達成見込 (◎, ○, △, ×, -)	(3)				
柱4(1)③ア	犯罪が起こりにくくまちづくり事業	町会・自治会やエンジョイ・パトロール等による自主防災活動が地域の防犯力として構築され、市内各地域においてきめの細かい防犯活動を展開するとともに、犯罪の抑止に配慮した公共空間の環境を整備することにより、犯罪が起こりにくくまちづくり（地域づくり）を推進していきます。										12,600人	防災安全課
		エンジョイ・パトロール登録者数	10,161人	約11,000人	11,300人	11,400人	約11,500人	○	・R3年度は、新デザイン帽子の作成及び啓発品の配布を行ったことで、加入促進に繋がった。また、エンジョイ・パトロール等の防犯活動についての防犯講話の動画をホームページで配信し、積極的な広報活動を行った。 ・R5年3月に実施するキャンペーンでは、来場される幅広い世代の方に積極的に広報し、登録者の増加を図る。				
柱4(1)③イ	消費者教育事業【再掲】 柱1(1)④エ	柏市消費者教育推進連絡会（教育委員会と連携）及び柏市消費者行政推進協議会を開催します。 柏市消費生活コーディネーター及び柏市消費生活サポーターが地域において行う活動の支援を行います。										50回	消費生活センター
		地域での消費者講座（講話）の開催回数	121回	160回	70回	100回	97	○	R3年度は新型コロナウイルス感染症による行動規制の変動があり、行動の緩和があった際に講座（講話）の実施が出来たことより、R2年度より開催回数が増加したと考えられる。次年度以降、成年年齢引き下げに伴う若年層の消費者被害の未然防止対策の強化、高齢者への消費者被害未然防止対策の啓発チラシの配布、パネル展示での啓発活動の実施などを検討していく。				
柱4(1)③ウ	消費生活相談事業【再掲】 柱2(1)②ク	消費生活相談員による消費生活相談や、消費生活相談員に対する研修を実施します。 全国消費生活情報ネットワークシステムへの消費生活相談内容の適正な報告をします。										3,725件	消費生活センター
		消費生活相談件数	3,304件	3,986件	3,697件	3,725件	3,428件	○	啓発チラシの配布やパネル展示等で消費生活センターの存在と業務内容の周知を強化していく。また、消費者トラブルの未然防止を図るため、消費者講座や啓発活動を通じ、世代に合わせた情報発信を進める。				

(2) 居住・移動支援の充実

① 居住支援の充実

番号	事業名	内容								R6 目標値	担当部署 ※複数の担当が該当する場合、青色セルの部署をご記入ください。		
		評価指標	H29 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3(中間年) 目標値	(1) R3 実績値	(2) R4目標値の達成見込 (◎, ○, △, ×, -)	(3)				
柱4(2)①ア	新たな住宅セーフティネット制度	柏市住生活基本計画と連携して住まいの確保の支援を行うとともに、高齢者や障害者の方が安心して地域で生活できるよう、住宅確保要配慮者円滑入居賃貸住宅専用住宅に関する情報を提供します。										-	高齢者支援課
		-	-	-	-	-	-	-	窓口やHP等で住宅確保要配慮者円滑入居賃貸住宅について、情報提供を行っています。				

② 移動手段の充実

番号	事業名	内容									担当部署
		評価指標	H29 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3(中間年) 目標値	(1) R3 実績値	(2) R4目標値の達成見込 (◎, ○, △, ×, -)	(3) ・R3取り組みの成果、課題 ・R6に向けた具体的施策や方向性 ・R4見込が△、×の場合は改善策	R6 目標値	
柱4(2)②ア	地域の公共交通網の形成	路線バスや、乗合タクシー、デマンドタクシー等のコミュニティ交通の新設・再編を進め、より利便性の高い公共交通網を構築していきます。									交通政策課
		公共交通乗車人員	360,919人/日	369,488人/日	283,823人/日	348,062人/日	299,848人/日	△	新型コロナウイルスの影響を受け、公共交通の乗車人員はR2年度からR3年度にかけて減少した。R4年度以降も、感染症拡大以前の数値には回復しづらいとの予測である。	348,062人/日	柏市社会福祉協議会
柱4(2)②イ	移動サービス事業（こらくだくん）	会員制の送迎サービス事業として、車いす利用などで公共交通機関の利用が困難な在宅生活者などに対し、柏市内及び柏市に隣接する県内市の範囲において、福祉車両での移動支援を行います。									柏市社会福祉協議会
		年間の利用件数	6,383件	5,681件	4,506件	7,000件	5,199件	△	コロナの影響で減少した利用者はR2年度の実績と比較すると増加傾向にあり、回復しつつあるが、目標値には達していない。市民への周知、状況に応じた利用条件の見直しなどを行い、利用者の増加を図る。	7,500件	柏市社会福祉協議会
柱4(2)②ウ	地域の支えあいの充実と体制整備	住民主体による生活支援サービスを実施する団体や地域の居場所を運営する団体が実施する移動支援サービスについて、補助金を交付し、移動手段の充実を図ります。									地域包括支援課
		移動支援実施団体数	-	実施せず	実施せず	-	-	-	・公共交通事業者等と協議をした結果、補助金交付という方法での実施は行わないこととなっている。交通部門と連携を図り、交通空白地域に実施したアンケート結果やヒアリングを基に新しい移動手段の検討や移動販売の活用などの情報を収集して検討していく。	-	柏市社会福祉協議会

③ バリアフリー化の促進

番号	事業名	内容									担当部署
		評価指標	H29 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3(中間年) 目標値	(1) R3 実績値	(2) R4目標値の達成見込 (◎, ○, △, ×, -)	(3) ・R3取り組みの成果、課題 ・R6に向けた具体的施策や方向性 ・R4見込が△、×の場合は改善策	R6 目標値	
柱4(2)③ア	バリアフリー化設備等整備事業	既に、鉄道駅では、エレベーター等による段差解消、視覚障害者誘導用ブロックによる転落防止、障害者対応型便所の設置などにより、移動の円滑化が図られていますが、今後は、利用者数の多い駅等において、より転落防止効果の高いホームドアの整備を、鉄道事業者に要望していきます。									交通政策課
		ホームドア整備済み駅数	3駅	3駅	3駅	3駅	6駅	◎	R3年10月からR4年1月にかけて、常磐緩行線の市内3駅（南柏駅、柏駅、北柏駅）にてホームドアが供用開始された。	6駅	交通政策課
		バス事業者に対してノンステップバスの導入を促し、高齢者や障害者等が利用しやすい路線バスを増やします。									交通政策課
		ノンステップバスの導入(台数)	222台	275台	284台	242台	284台	◎	市内4社（東武、阪東、松戸新京成、ちばレインボー）の合計値であり、バス会社により台数にばらつきがあるものの、例年増加している。	268台	交通政策課
		(率)	76.00%	76.39%	79.10%	81.50%	79.1%	○	バス会社により導入率にばらつきがあるものの、阪東バスに関しては100%の導入率である。	90.20%	交通政策課
		タクシー事業者に対してUDタクシーの導入を促し、高齢者や障害者等が利用しやすいタクシーを増やします。									交通政策課
		UDタクシーの導入(台数)	17台	46台	46台	40台	81台	◎	車両入れ替え時にUDタクシーの導入をしており、令和3年度をもって数値目標の達成となった。	80台	交通政策課
(率)	4.00%	10.90%	10.90%	9.30%	20.10%	◎	車両入れ替え時にUDタクシーの導入をしており、令和3年度をもって数値目標の達成となった。	18.70%	交通政策課		
柱4(2)③イ	バリアフリー教室	バス乗り方教室の開催、交通事業者等が主催するバリアフリーの大切さを学ぶ乗物体験交流会の支援を行います。									交通政策課
		教室開催・支援の回数	0回	6回	0回	6回	0回	-	新型コロナウイルスの影響により開催を見送った。来年度以降、実施可否、実施方法について検討する。	6回	交通政策課
柱4(2)③ウ	バリアフリー道路特定事業	柏市バリアフリー基本構想で定められた重点整備地区内について、国のバリアフリーに関する構造基準に準拠した道路の整備を実施します。									道路整備課
		バリアフリー経路整備延長	4.64km	4.81km	5.01km	延長	5.01km	-	バリアフリー化工事は多額の費用が必要となるため、国庫補助金の充当が必須となるが、R3年度は財源が確保出来ず事業未実施。今後も引き続き国庫補助金の交付を要望し財源の確保に努める。	延長	道路整備課

(3) 権利擁護の推進

① 虐待の防止

番号	事業名	内容									担当部署
		評価指標	H29 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3(中間年) 目標値	(1) R3 実績値	(2) R4目標値の達成見込 (◎, ○, △, ×, -)	(3)	R6 目標値	
柱4(3)①ア	高齢者権利擁護ネットワーク事業	権利擁護に関する相談件数	405件	839件	652件	650件	694件	◎	・R3取り組みの成果、課題 ・R6に向けた具体的施策や方向性 ・R4見込が△、×の場合は改善策	650件	地域包括支援課
柱4(3)①イ	障害者虐待防止センター	虐待防止研修会受講者数	150人	141人	61人	150人	345人	◎	虐待防止研修会はWEB研修に切替え、障害者虐待防止の取組が義務化となったこともあり、参加者が大きく伸びている。 虐待対応については、R3年度から専任の職員を配置し窓口が明確になったことで、これまでよりも迅速できめ細やかな対応、他機関との連携が可能となった。	150人	障害福祉課
柱4(3)①ウ	要保護児童対策事業	要保護児童終了件数	79件	249件	493件	80件	408件	◎	要保護児童対策地域協議会(要対協)に新たな構成機関の加入調整を行い、関係機関の連携強化を図ることができた。R3年度以降、毎年構成機関が民間も含め増えており、必要な支援や登録ケースが増えたことにより、終了件数も昨年度同様に今後も当初の目標値を大きく超える見込み。	80件	こども支援室
柱4(3)①エ	男女共同参画推進のための相談事業	女性のこころと生き方相談の利用率	83.11%	79.77%	60.66%	増加	70%	○	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、一時は相談件数が減少したが、R2年度の実績と比較すると、例年に近い割合へと増加した。相談内容は、家族やパートナーからの暴力に関するものが多く寄せられており、それぞれのケースに合わせて必要な情報提供をしたり、状況に応じて関係機関と連携するなどして対応している。	増加	共生・交流推進センター

② 権利擁護の仕組みの周知と利用促進

番号	事業名	内容									担当部署
		評価指標	H29 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3(中間年) 目標値	(1) R3 実績値	(2) R4目標値の達成見込 (◎, ○, △, ×, -)	(3)	R6 目標値	
柱4(3)②ア	成年後見制度の活用促進事業	成年後見に関する相談件数(実件数)	89件	249件	633件	650件	725件	◎	・R3取り組みの成果、課題 ・R6に向けた具体的施策や方向性 ・R4見込が△、×の場合は改善策	700件	地域包括支援課 障害福祉課
柱4(3)②イ	成年後見事業(かしわ福祉権利擁護センター)	後見支援員の延活動日数	213日	313日	143日	540日	176日	×	コロナ禍により、施設等への面会ができなくなり訪問回数も減った。Zoom面会のように本人に会わない面会方法を行っているが、今後も面会ができないことが予想され、目標値の変更を検討したい。	780日	柏市社会福祉協議会
柱4(3)②ウ	日常生活自立支援事業(かしわ福祉権利擁護センター)	契約件数	116件	112件	110件	140件	118件	○	①福祉サービス利用援助 福祉サービスの情報提供やサービス利用、やめる際の手続き、苦情解決制度利用時の手続きの支援を行います。 ②財産管理サービス 生活に必要な現金の払戻や預入の他、医療費、税金、公共料金などの支払いの支援を行います。 ③財産保全サービス 定期預金通帳、年金証書、権利証書などの必要な書類をお預かりし、貸金庫にて保管します。	155件	柏市社会福祉協議会
柱4(3)②エ	障害者差別解消法の周知及び相談体制の構築	障害者差別解消支援地域協議会開催(回)	3回	3回	3回	3回	3回	○	協議会はzoom併用とすることで、例年通り年3回実施した。 引き続き、柏市権利擁護ネットワーク会議における障害者に関する専門部会と一体的に実施し、障害者差別の改善策を検討する。	3回	障害福祉課